JA東びわこ

令和元年度 自己改革報告書

「食」と「農」を基軸として地域に存在感のあるJAを目指して

目　次

はじめに …… 2

1　農家組合員の所得増大と農業生産の拡大 …… 3

2　総合事業による地域の活性化とくらしの支援 …… 7

3　自己改革を支えるJA経営基盤の確立 …… 9

ちゃぐりんキッズクラブ※

JA東びわこでは、次世代を担う子どもたちに「食」と「農」の大切さを伝えるため、農業体験等を通じた食農教育を行っています。毎年９月に実施される稲刈り体験では、鎌を使った刈り取りや足踏み脱穀機による脱穀といった昔ながらの農作業体験を行い、農業の大変さや魅力を学んでいます。ちゃぐりんキッズクラブは当JA管内の小学３年生のお子様であれば誰でも入会可能です。

※ちゃぐりんとはChild（子ども）、Agriculture（農業）、Green（みどり、自然）を合わせた言葉です。

JA東びわこの自己改革報告書
＝令和元年度報告＝

はじめに

JA東びわこでは、第７次中期経営計画の基本理念である『「食」と「農」を基軸として地域に存在感のあるJAづくり』の実現に向け全役職員が「１つのチーム」として一丸となり各取り組みを進めてきました。

令和元年度は第７次中期経営計画の最終年度として３ヵ年の取り組みを更に充実させることを目的に進めました。昨年５月に農協改革集中推進期間が終了いたしましたが、これからも自己改革に終わりはありません。

「自己改革報告書」は令和元年度の総代会で組合員の皆さまにお示しいたしました「自己改革工程表」に対して、現在の取り組みの進捗状況をご報告するものです。

JA東びわこが目指す自己改革はJA東びわこ役職員だけでなく、組合員皆さまのご協力、ご理解なくしては実現することができません。

そして、組合員の皆さまからいただいた声を各事業の取り組みへ反映させることが重要です。

これからもJA東びわこでは「組織の見える化」を図ることで組合員の皆さまに「事業の取り組み」や「体制づくり」を常に目にしていただき、今後もさらに組合員ニーズに合った自己改革の実現と、より良いJAづくりを目指した取り組みを続けてまいります。

基本理念

「食」と「農」を基軸として地域に存在感のあるJAづくり

経営指針

１、農家組合員の所得増大と農業生産の拡大（食料・農業）
２、総合事業による地域の活性化とくらしの支援（くらし・地域）
３、自己改革を支えるJA経営基盤の確立（組織・経営）

1 農家組合員の所得増大と農業生産の拡大

食料・農業

①販売力強化の取り組み

実需者の要望に合った作付けと出荷数量の確保のため、全生産者を対象とした水稲播種前契約を県内JAの中でもいち早く取り組みました。実需者を指定した個別委託販売や、直売所、学校給食、新聞折り込み、ネット販売、ふるさと納税等を活用した玄米販売に取り組み、地産地消並びに農家所得の向上を目指しました。

令和元年度産米は環境こだわり農業の実践として水稲「みずかがみ」作付け面積の拡大を図りました。プレミアム米、環境こだわり米等従来の付加価値を付けた玄米販売のほか、子育て応援米の販売を行いました。また、令和元年度産「米の食味ランキング」では、コシヒカリ・みずかがみについて最高評価である『特A』となりました。

直売所の新たな取り組みとして、管内のスーパーマーケットとの連携によるインショップの開設、彦根商工会議所との協賛による地元飲食店と生産者をつなぐ、やさいの里二番館での「食のプロ限定購入タイム」をそれぞれ実施しました。今後も直売所の機能を発揮し、地産地消の促進と地域活性化に向けた取り組みを進めます。

玄米販売チラシ

食のプロ限定購入タイム

[付加価値をつけた米の実績]

項目	平成28年度末実績値（基準年度）	平成29年度末実績値	平成30年度末実績値	令和元年度末実績値	基準年度比
プレミアム米集荷実績	-	3,087袋	323袋	85袋	-
環境こだわり米比率	50.0%	49.3%	48.0%	48.0%	96.0%
集荷全量に対するJA管内の流通米割合	1.0%	5.4%	5.7%	15.0%	1,500.0%

新たな取り組みとして地域特産品の更なる認知度向上や消費拡大を目的に、当JAの理事長・首長・生産組合の代表による特産品のトップセールスを開催しました。８月には美浜館で彦根梨を、11月には管内のスーパーマーケットで多賀にんじんを取り上げ、旬を迎えた特産品や加工品の紹介、試食提供、販売を行いました。来店された方だけでなくマスメディアを通じて広くJA東びわこの特産品をPRすることができました。

彦根梨トップセールス

多賀にんじんトップセールス

［直売所活性化に向けた取り組み実績］

項目	平成28年度末実績値（基準年度）	平成29年度末実績値	平成30年度末実績値	令和元年度末実績値	基準年度比
供給高	439,561千円	498,791千円	519,330千円	551,710千円	125.5%
来店者数	397,445人	395,717人	415,000人	424,712人	106.9%
部会員数	545人	554人	595人	575人	105.5%

②生産コスト低減への取り組み

省力タイプ肥料や大型規格農薬のラインナップを充実させ、生産コスト低減への取り組みを進めました。また、「低コスト農業研究会」を中心に、低コストと収量性を意識した肥培管理と設計に向け、各種試験展示圃場で低コスト技術・資材試験を実施しました。

春肥引き取り

［水稲・麦・大豆の年度別生産コストの比較］

③農業生産の拡大へ向けた取り組み

麦・大豆・そばについて、収量・品質向上に向けた試験展示圃の設置や栽培研修会を実施しました。麦の平均収量は向上しましたが、大豆・そばについては、台風等の影響により収量・品質共に低下しました。

販路開拓で獣害に負けない主力農産物づくりの取り組みとして、ピーマンを学校給食用として出荷しました。

農家組合員のニーズを把握するため、JA東びわこ常勤役員による担い手訪問をはじめ訪問活動や認定農業者の会・若手担い手農業後継者グループとの意見交換会を実施しました。

湖東地域農業センターと連携し、集落営農法人連絡協議会の活動や栽培研修会、スマート農業実演会を通じて農業生産の拡大に向けた取り組みを進めました。また、管内の集落営農法人や部会と連携し、研修会や実証実験、特産品の普及に向けた販路拡大の取り組みを実施しました。

学校給食出荷用ピーマンを持ち寄る生産者

湖東地域農業センター集落営農法人連絡協議会意見交換会

[麦・大豆・そばの作付面積実績]

作物名	平成28年度末実績値（基準年度）	平成29年度末実績値	平成30年度末実績値	令和元年度末実績値	基準年度比
麦	1,175ha	1,151ha	1,057ha	1,087ha	92.5%
大豆	910ha	1,060ha	996.4ha	764ha	84.0%
そば	80ha	84.5ha	84.4ha	79ha	98.8%

[園芸品目の生産実績]

作物分類	平成28年度末実績値（基準年度）	平成29年度末実績値	平成30年度末実績値	令和元年度末実績値	基準年度比
重点園芸品目（露地栽培）	17.5ha	22.4ha	23.2ha	22.0ha	125.7%
野菜苗	2,500枚	4,093枚	4,477枚	3,289枚	131.6%
花卉類	0.8ha	0.9ha	0.9ha	0.9ha	112.5%

JA東びわこ管内の農業振興と農地保全を進めるため、TACや支店渉外担当者による訪問活動で農業融資のニーズを適切に把握し農家組合員の皆さまへ低金利商品（アグリマイティ資金）等をPRし、農業経営支援を強化しました。また、TAC、LA（ライフアドバイザー）が連携し、農家組合員の皆さまを対象とした農業リスク診断活動を実施しました。農業を取り巻くリスクに備え、農家組合員の皆さまが安心して農業経営を行える事業基盤を築くことを目指しました。

直売所の活性化を目的に直売所スタンプカード付定期貯金（SEED）の取り扱いを行い、直売所の利用拡大に取り組みました。

JAバンク滋賀　農業融資応援プランチラシ

農業リスク診断活動

[農業融資実行実績]

項目	平成28年度末実績値（基準年度）	平成29年度末実績値	平成30年度末実績値	令和元年度末実績値	基準年度比
実行金額	116,530千円	286,590千円	421,960千円	300,585千円	257.9%
実行件数	29件	60件	81件	68件	234.5%

[農業リスク診断実績]

項目	平成28年度末実績値（基準年度）	平成29年度末実績値	平成30年度末実績値	令和元年度末実績値	基準年度比
農業リスク診断実施件数	49件	78件	128件	149件	304.1%
農業応援隊契約件数	1件	6件	14件	20件	2,000.0%

2 総合事業による地域の活性化とくらしの支援

くらし・地域

①組合員の皆さまと創る協同活動とくらしの活動実践活動

JA東びわこ食のつどい
（女性部活動）

あいしょう館料理教室
（直売所統括課主催）

男の料理教室
（そば打ち体験）

若手農業者によるイベント
（温玉の試食提供）

JA東びわこ大感謝祭
（ひこね市文化プラザ）

支店まつり
（愛知川支店）

ちゃぐりんキッズクラブ
（食農教育）

管内小学校での稲刈り
（１支店１協同活動）

農業塾
（家の光小グループの活動）

JA東びわこは、「食」と「農」を基軸として地域に存在感のあるJAづくりを基本理念に掲げ、地域に根ざした活動に取り組んでいます。ここでは、JA東びわこが行っている取り組みの一部を紹介します。

②総合事業の特性を活かした地域・集落機能活性化への取り組み

JA共済交通安全教室
（共済事業）

ローン相談会
（信用事業）

クリスマスイベント
（窓口感謝デー）

インショップによる出店
（管内スーパーマーケットにて出店）

大感謝祭での炊き出し訓練
（直売所出荷者主催）

タマネギの選別
（農業分野と福祉分野の連携）

交通安全折り鶴贈呈
（管内幼稚園より）

グラウンドゴルフ大会
（年金友の会）

デイサービスセンター
（福祉事業）

3 自己改革を支えるJA経営基盤の確立

組織・経営

①組織・経営体質の強化

JA東びわこでは、准組合員の参画の機会を設け、意思反映を充実させるため平成30年度に「准組合員総代」制度を導入しました。准組合員総代の積極的なJA運営への参画とメンバーシップ強化を目的とした准組合員総代研修会を開催しました。協同組合の仕組みや総代の役割について理解を深めた後、JAの施設（稲枝品質管理センター、選果場、葬祭ホール、農産物直売所）の視察を行いました。

准組合員総代研修会見学

支店の活性化に向け、令和元年度より准組合員総代も支店運営委員会に参加いただいています。また「組合員の声」を反映させるため、常勤役員・室部長が年１回支店運営委員会に参加しています。

組合員・地域の皆さまにJA東びわこの自己改革をお伝えするため、広報誌「EひとEすと」にて自己改革の取り組みを掲載しました。令和元年度は平成31年2月に実施した全組合員アンケートの結果と令和元年度に実施した自己改革の取り組みについて、広報誌の特集として掲載しました。

自己改革のベースとなる安定的な経営基盤を目指すため、自己資本比率の堅持や各経営指標の安定と維持強化を図りました。

広報誌「EひとEすと」による自己改革の紹介

[経営基盤強化に向けた取り組み実績]

項目	平成28年度末実績値（基準年度）	平成29年度末実績値	平成30年度末実績値	令和元年度末実績値	基準年度比
新規組合員加入者数	835人	1,023人	883人	587人	70.3%

項目	平成28年度末実績値（基準年度）	平成29年度末実績値	平成30年度末実績値	令和元年度末実績値	基準年度比
自己資本比率	17.31%	17.57%	16.7%	16.76%	96.82%

②人材育成強化と働きやすい職場環境の構築・整備

全職員研修会や管理職を対象とした階層別研修会、若手職員と中堅職員を対象としたキャリアデザイン研修及び面談等を通じて、「人」と「組織」の活性化に向けた取り組みを継続して行っています。

また、JA職員が地域に寄与・共生し、差別のない明るい地域・職場づくりを目指すため、地域貢献活動の一環として人権活動の取り組みを継続的に実施しています。「いのち」「愛」「人権」「環境」という４つのキーワードを基に、農業体験、施設訪問、福祉活動、地域の子どもたちとの交流等、グループで企画・立案し活動を実践しています。

「働きがいのある職場づくりプロジェクト」ではワークライフバランスのとれた職場づくりに向け、令和２年３月に先進的な取り組みを行う企業への視察研修を実施しました。

全職員研修会

黒大豆圃場の草刈り

働きがいのある職場づくりプロジェクト視察研修

令和元年度は、様々な事業を通じて農業と地域の活性化に向けた取り組みを進め、組合員・地域の皆さまに愛されるJAづくりを目指しました。

今後も総合事業を通じて、組合員・地域の皆さまに信頼され、満足していただけるJAを目指して自己改革に取り組んでまいりますので、これからもよろしくお願いいたします。

JA東びわこ

人とくらしのE関係

JA東びわこ
イメージキャラクター
“いっぴー”

編集・発行／企画管理部
東びわこ農業協同組合

〒522-0223 滋賀県彦根市川瀬馬場町 922 番地 1
■ TEL.（0749）28-7801　■ FAX.（0749）28-7888
■ホームページ http://www.east.jas.or.jp　■メールアドレス kikakuka@east.jas.or.jp